



大場洋介 議員

町独自の防災タイムラインの策定を

回答 国・県を参考に防災体制を強化

総合防災訓練の意義と判断は

大場議員 防災訓練は、いつ発生するか予測できない災害に備え、安全・安心な町づくりを

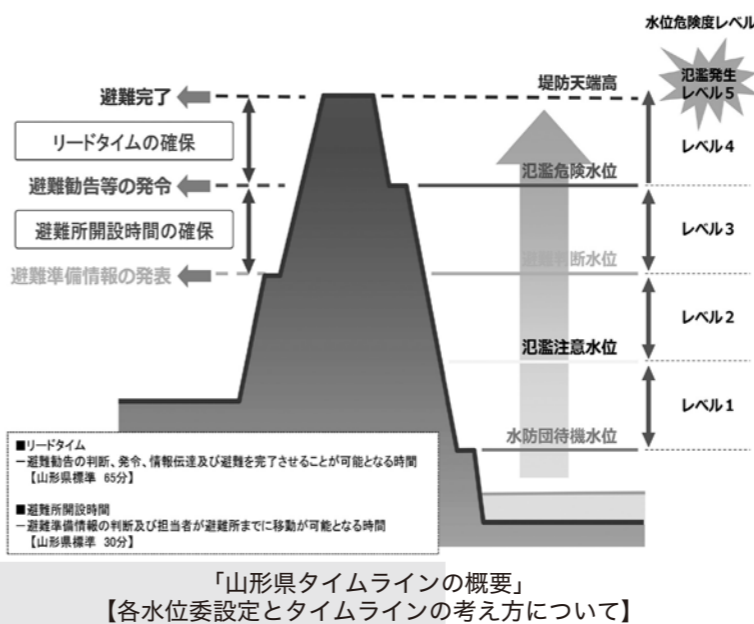
は欠かせないもの。町内の感染状況にて今年も中止したが、ウイズコロナ・ポストコロナの現状で対策を考慮した上での訓練の意義が重要視される。防災への意義と今後の判断基準を伺う。

町長 昨今の激甚化する災害の状況を目の当たりにし、実践的な訓練を実施する必要性を感じ、訓練内容を見直しも視野に入れている。今後のコロナ禍にて陽性者がいても、防災訓練は実施する方向で考えたい。

町民税務課長 万が一、停電時には発電機及び蓄電池を活用し、自前の非常用電源の必要性を防災基本計画や地域防災計画と整合性を図りながら協議している。様々な個別の計画の中で改めて停電対策について確認し、不備が生じないように考えている。

健康推進主幹 今年3月に第二期成年後見制度利用促進基本計画を策定し、制度の見直しや運用改善などで地域連携強化を定めた。協議会では、中核機関を中心に幅広い分野でネットワークを構築し支援の充実が重要と考え

地域性に即したタイムラインは
大場洋介議員 昨今の大型化した自然災害から人命を守るため、大雨に伴う水害に関してタイムライン(事前の防災行動計画)が有効的である。準備段階のチェックリスト的な役割も果たす意味もあり、早期策定が必要と考えるが見解を伺う。
町長 県内の3割、管内の3町村にて策定している。河川が氾濫するまでの時間を想定し、避難指示のタイミングなどの対応方法として、国・県のタイ



大場議員 金山町地域防災計画に停電対策に

停電時の本部及び住民への対応は

利用促進法における地域連携ネットワーク整備計画状況は

大場議員 近年の成年後見制度の利用状況は手続きが煩雑であり、支援が必要な人にとって積極的な利用に繋がりにくい事や高齢者には制度の有効活用が難しい現状。本人らしい生活を守るための地域連携計画の状況を伺う。

学力向上対策の これからは

回答 授業力向上・小中連携授業研究会設立を



沼澤道也 議員

全国平均下回る
学力学習状況調査

沼澤道也議員 本年行われた全国学力学習調査の結果はどうなったのか。

教育長 4月に行われた本調査は、比率が公表された結果が下表のとおりとなっている。当町は、ここ10年ほど正答率は全国平均を上回る年度もあったが、多くが下回る結果となっている。小学校では、国語と理科が全国並み、算数がやや低いものとなっている。中学校では、国語がやや低く、数学が低い。理科がほ

ぼ全国並みの結果であった。特に中学校の数学は最上地区全体でも低い状態となっていて、教育センターに数学専

門の指導主事を配置している。
沼澤議員 結果を踏まえ、町としての今後の取り組みは。

教育長 町としては、個人の理解や習熟度に応じた学習機会の提供としてイザベラ塾の実施、算数、数学、英語を中心に通年や学年末休業に実施している。また、学校現場では、授業力の向上、小中連携授業研究会の設立をして体制整備を実施していく。これらを通して

言になっている。県としても山形第6中学校、鮭川中学校の2校で実践教育がされている。当町としては、金山健康ふれあいスポーツクラブを中心に主に夜間に週2回程度実施している。今後、最上地区の中学校長会、教育長会、中体連などと連携した検討をしていく考えである。

真の学力向上に向けていきたいし、保護者や町民の皆様からのご理解をお願いしたい。

その他の質問
・ふるさと納税の取り組み、強化について

スポ少、部活の外部委託の現状

沼澤議員 先生方の働き方改革のもとスポ少部活の外部委託が話題になっているが現状は

沼澤議員 先生方の働き方改革のもとスポ少部活の外部委託が話題になっているが現状は

沼澤議員 先生方の働き方改革のもとスポ少部活の外部委託が話題になっているが現状は

沼澤議員 先生方の働き方改革のもとスポ少部活の外部委託が話題になっているが現状は

令和4年度 全国学力・学習状況調査結果 (令和4年4月19日実施)					
○は金山小・金山中の平均、全国平均との差を示しています。					
小学校6年	低い	やや低い	平均	やや高い	高い
国語			○		
算数		○			
理科			○		
中学校3年	低い	やや低い	平均	やや高い	高い
国語		○			
数学	○				
理科			○		

※なお、中学校3年生のうち、新型コロナウイルスワクチン接種副反応等による欠席者7名の結果は含まれておりません。
※山形県平均についても上記の表と同様の結果になります。